

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年6月25日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県岩国市灘町1番1号

氏 名 東洋紡エンジニアリング株式会社 山口営業
所長 藤田 浩

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0827-31-5560

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 東洋紡エンジニアリング株式会社 山口営業所

事業場の所在地 山口県岩国市灘町1番1号

事業の種類 総合工事業

産業廃棄物処理計画
における計画期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2000 t	全 処 理 委 託 量	2000 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2000 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

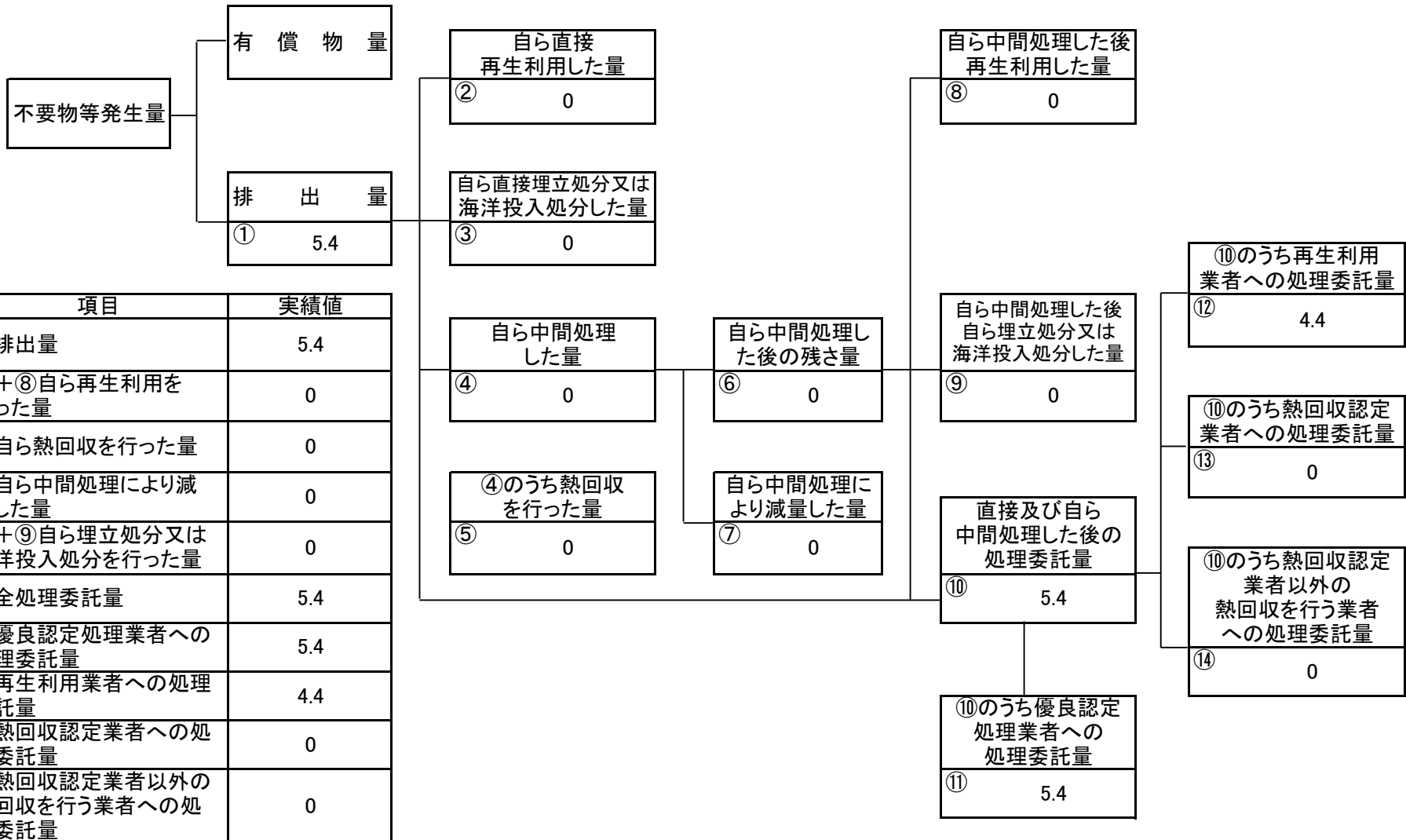
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和7年度実績)

多量排出事業者 名 称	東洋結エンジニアリング株式会社 山口営業所	所在地(市町名)	新潟市	事業の種類	総合工事業
-------------	-----------------------	----------	-----	-------	-------

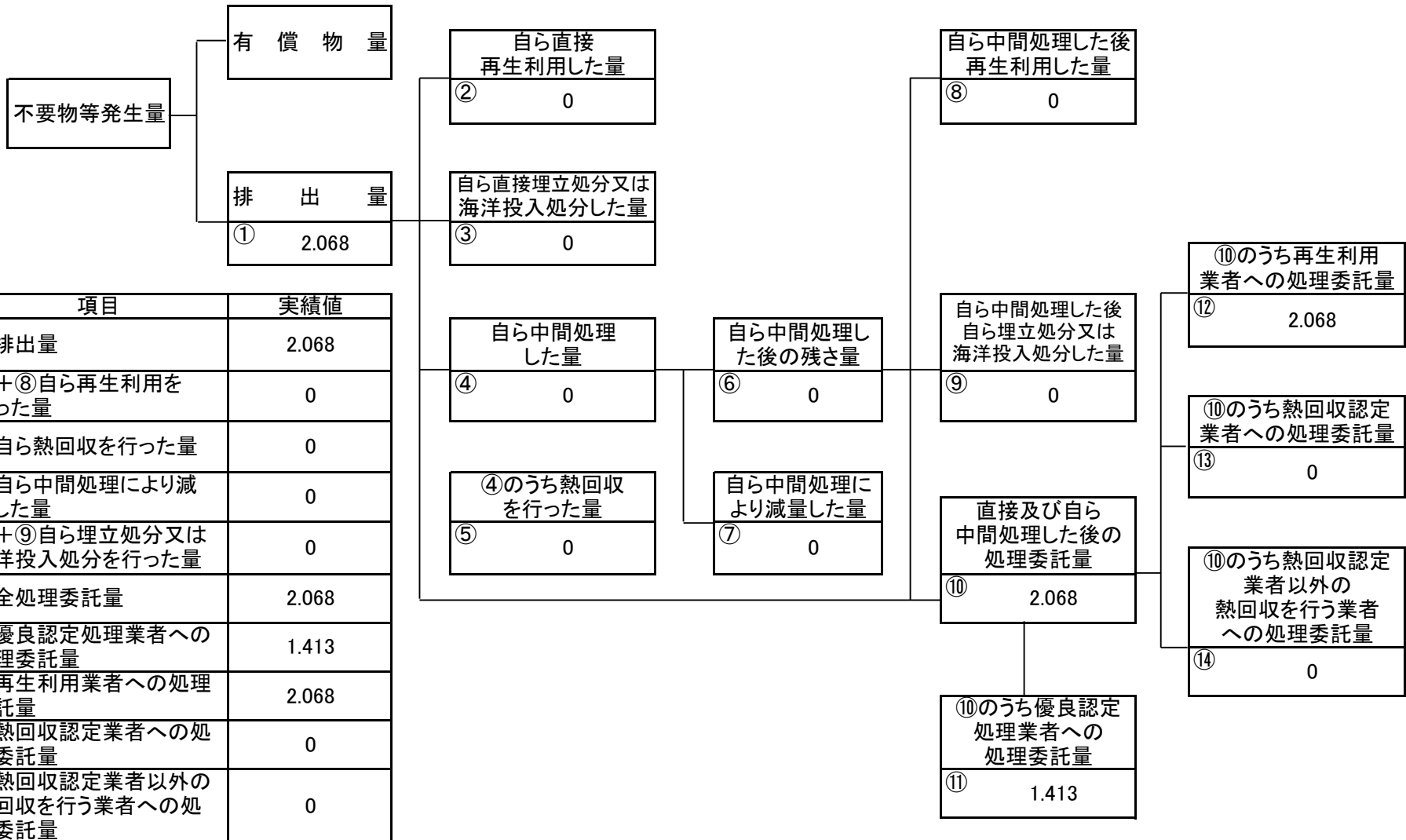
区 分	種 別	計 画 の 実 施 状 況															
		① 排出量	② 自ら直接再生 利用した量	③ 自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	④ 自ら中間処理 した量	⑤ ④のうち焼却回 入を行った量	⑥ ④のうち中間処 理した量、再生 利用した量	⑦ ④のうち中間処 理した量、再生 利用した量	⑧ ④のうち中間処 理した量、再生 利用した量	⑨ 直接及び自 らの施設等へ の処理委託量	⑩ ⑨のうち自 らの施設等へ の処理委託量		⑪ ⑨のうち中 間処理業者へ の処理委託量		⑫ ⑨のうち最 後処分業者へ の処理委託 量		
産 業 廃 棄 物	燃え殻																
	汚泥	5,400							5,400	4,400		4,400			1,000	1,000	5,400
	廃油																
	廃鉄																
	廃アルカリ	2,068							2,068	2,068	1,413	0.655					1,413
業 廃 棄 物	廃プラスチック類	75,625							75,625	28,225	23,275	5,950			46,400	39,200	7,200
	紙くず	0.600							0.600	0.600	0.600						
	木くず	204,700							204,700	204,700	203,050	1,650					
廃 棄 物	繊維くず	19,000							19,000	19,000	19,000						
	動植物性残さ																
物	動物系固形不棄物																
	ゴムくず																
	金属くず	0.020							0.020	0.020	0.020						
	ガラスくず、コンクリートくず、 珪藻土くず	168,590							168,590	39,590	2,400	37,190			129,000	129,000	
	がれき類	3,768,250							3,768,250	3,710,450	3,710,450			57,800	22,120	35,680	2510,540
	動物のふん尿																
	動物の死体																
	ばいじん																
	12号廃棄物																
	計 (A)	4,244,253							4,244,253	4010,053	3960,208	49,845			234,200	191,320	42,880

実 施 情 形															
⑬ 排出量	⑭ ⑬のうち再生 利用を行った量	⑮ ⑬のうち中間処 理を行った量	⑯ ⑬のうち中間処 理により焼却回 入処分を行った量	⑰ ⑬のうち埋立 処分を行った量	⑱ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	⑲ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	⑳ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉑ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉒ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉓ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉔ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉕ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉖ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉗ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量	㉘ ⑬のうち最 後処分業者へ の処理委託 量
5,400					5,400	5,400	4,400								
2,068					2,068	2,068	1,413	2,068							
75,625					75,625	28,225	23,275								
0.600					0.600	0.600	0.600								
204,700					204,700	204,700	203,050								
19,000					19,000	19,000	19,000								
0.020					0.020	0.020	0.020								
168,590					168,590	39,590	2,400								
3,768,250					3,768,250	3,710,450	3,710,450								
4244,253					4244,253	2517,353	4010,053								

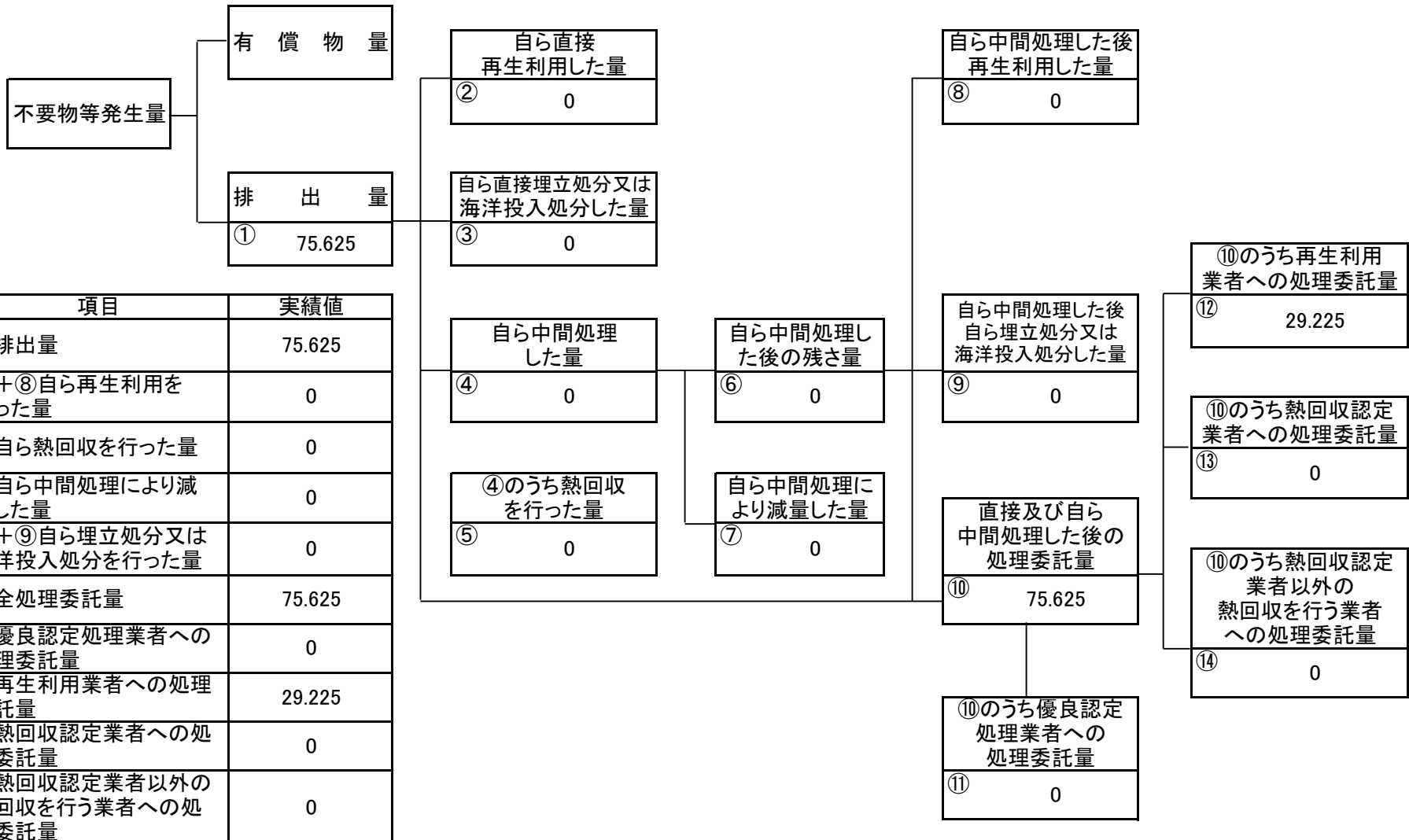
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)



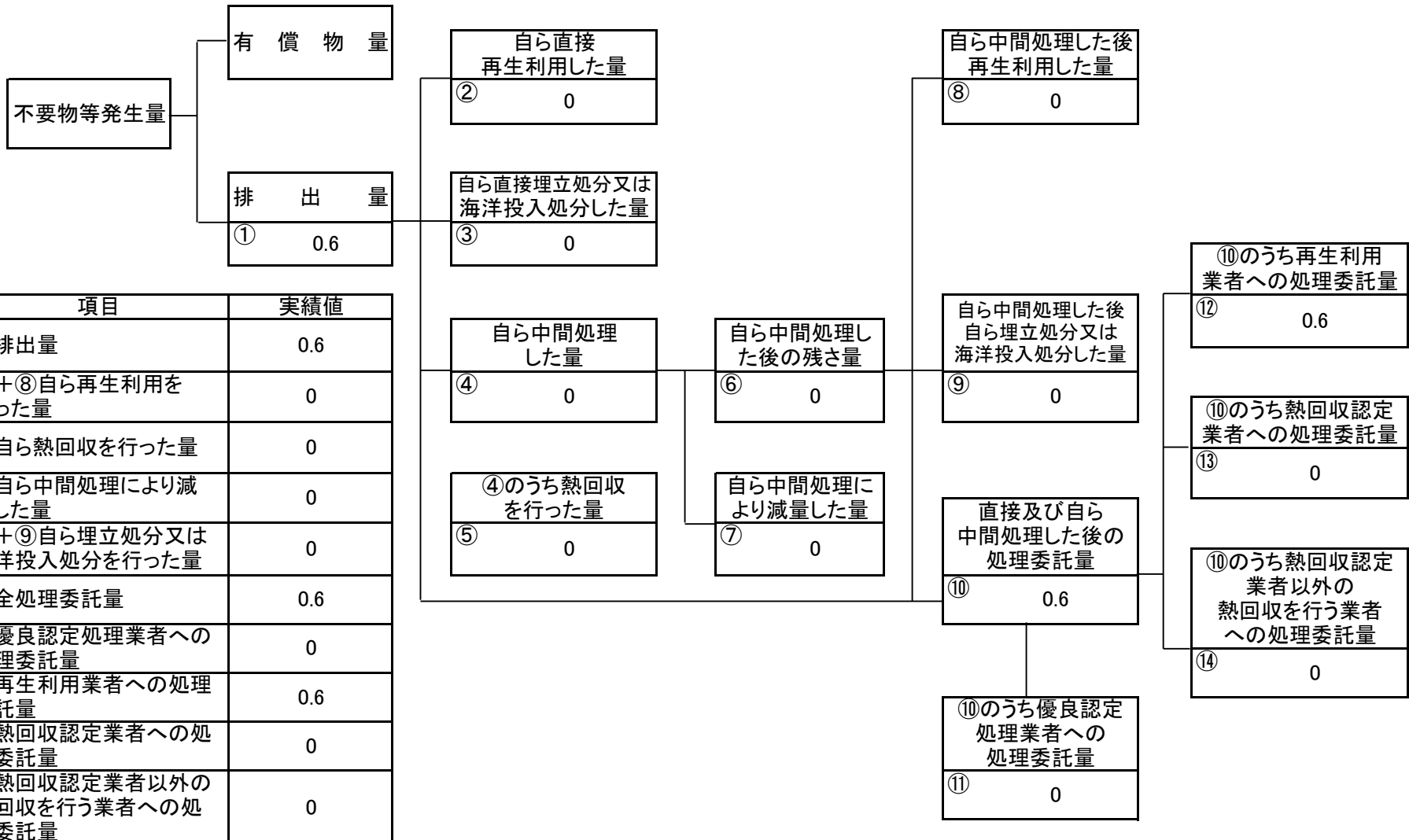
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



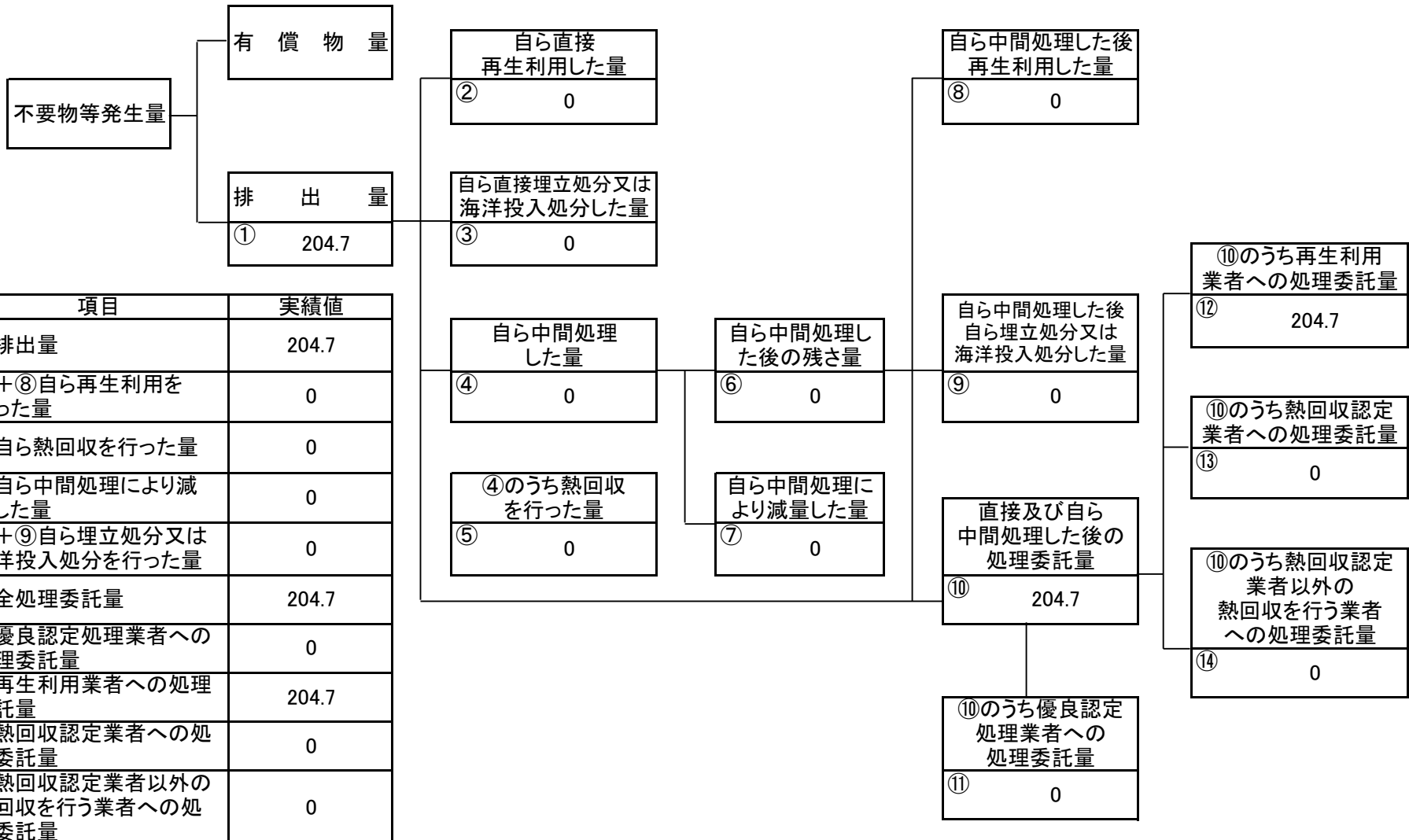
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



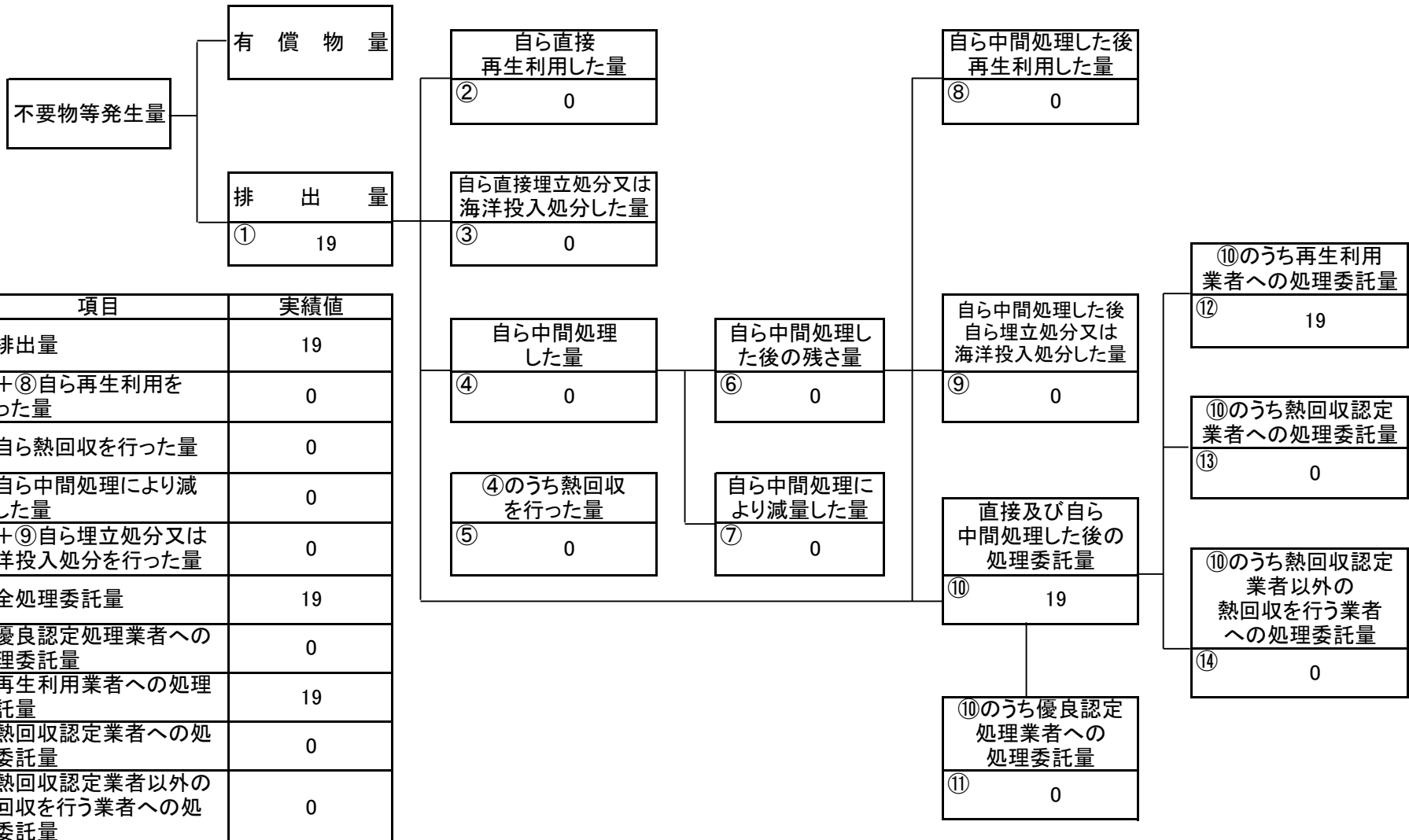
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 紙くず)



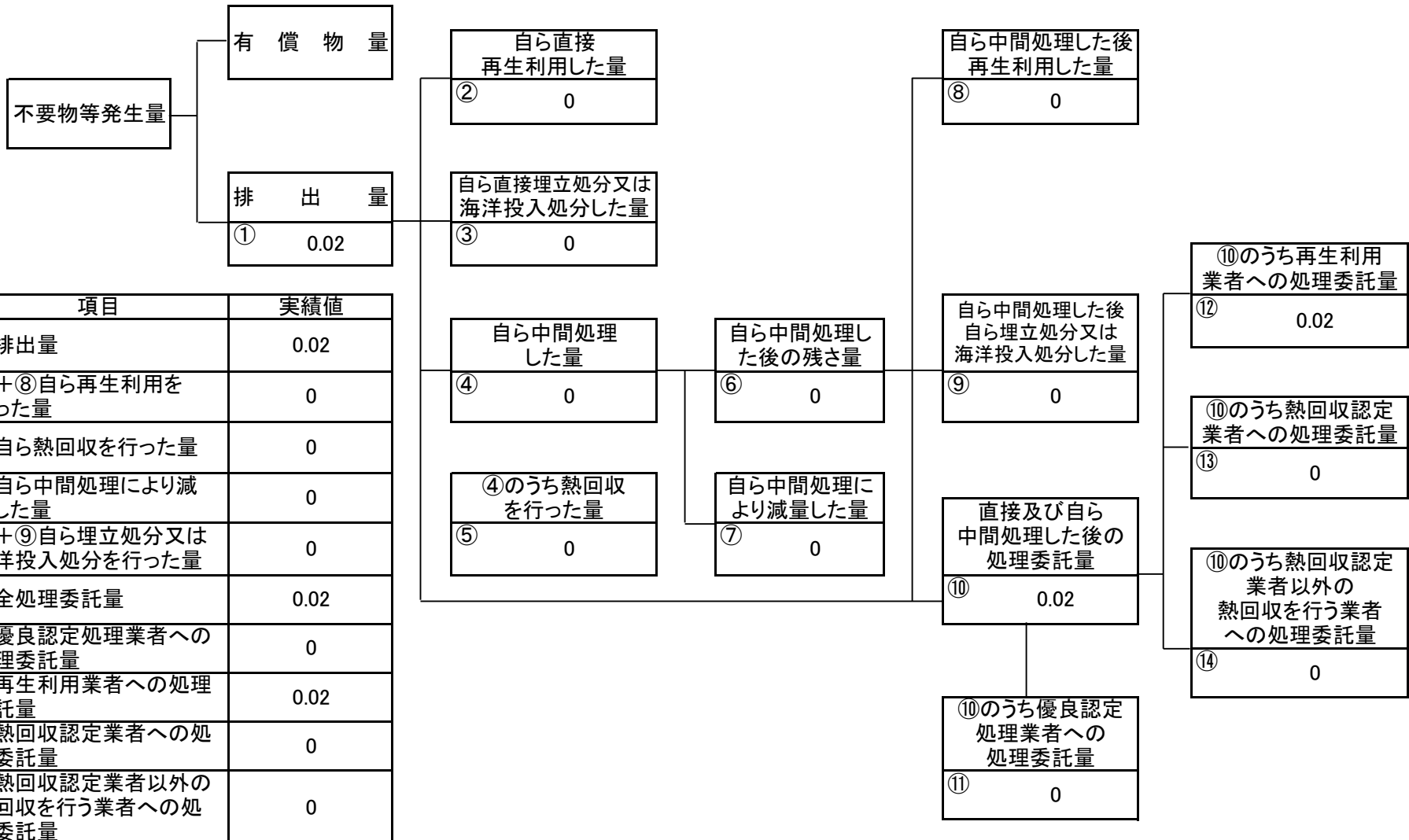
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



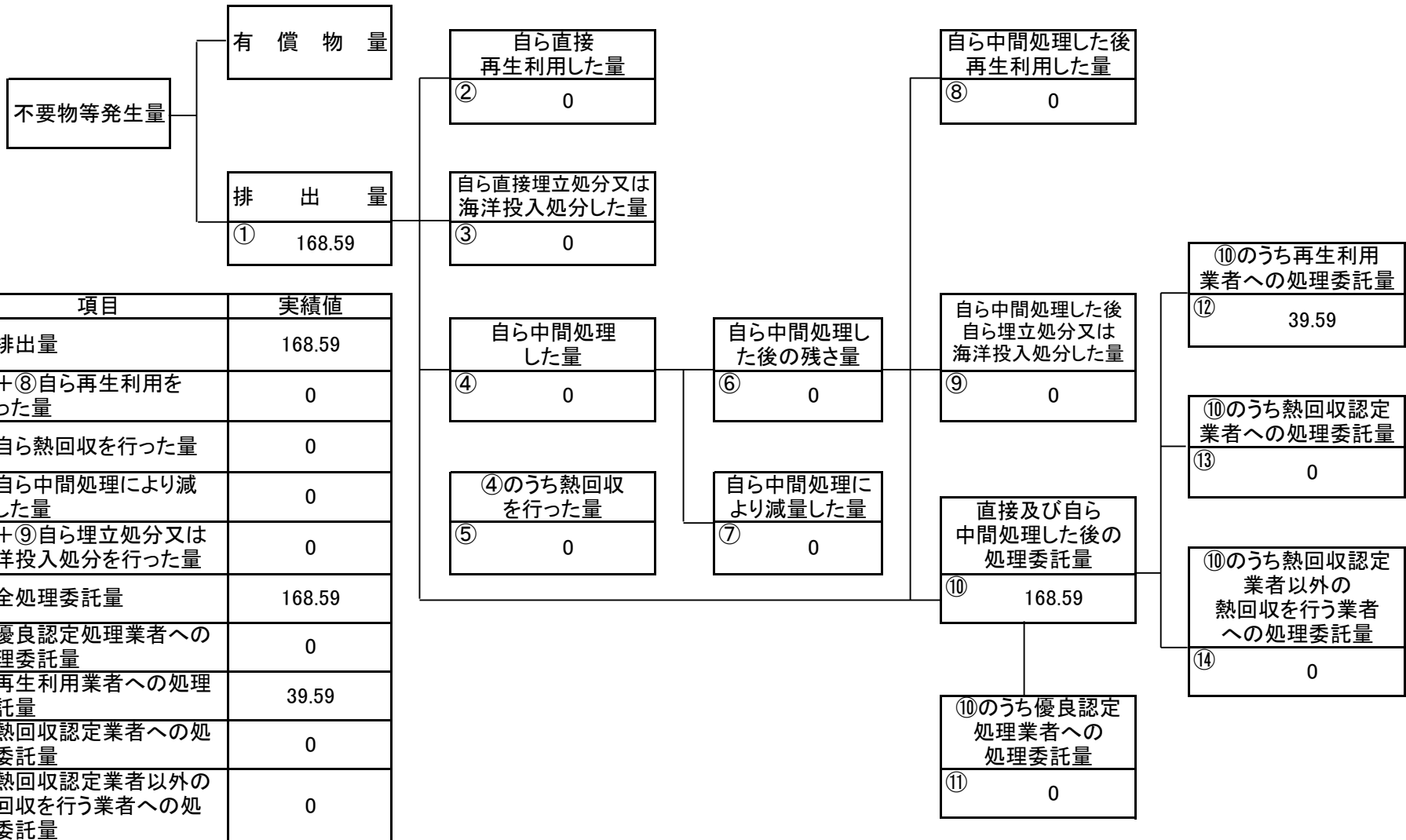
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 繊維くず)



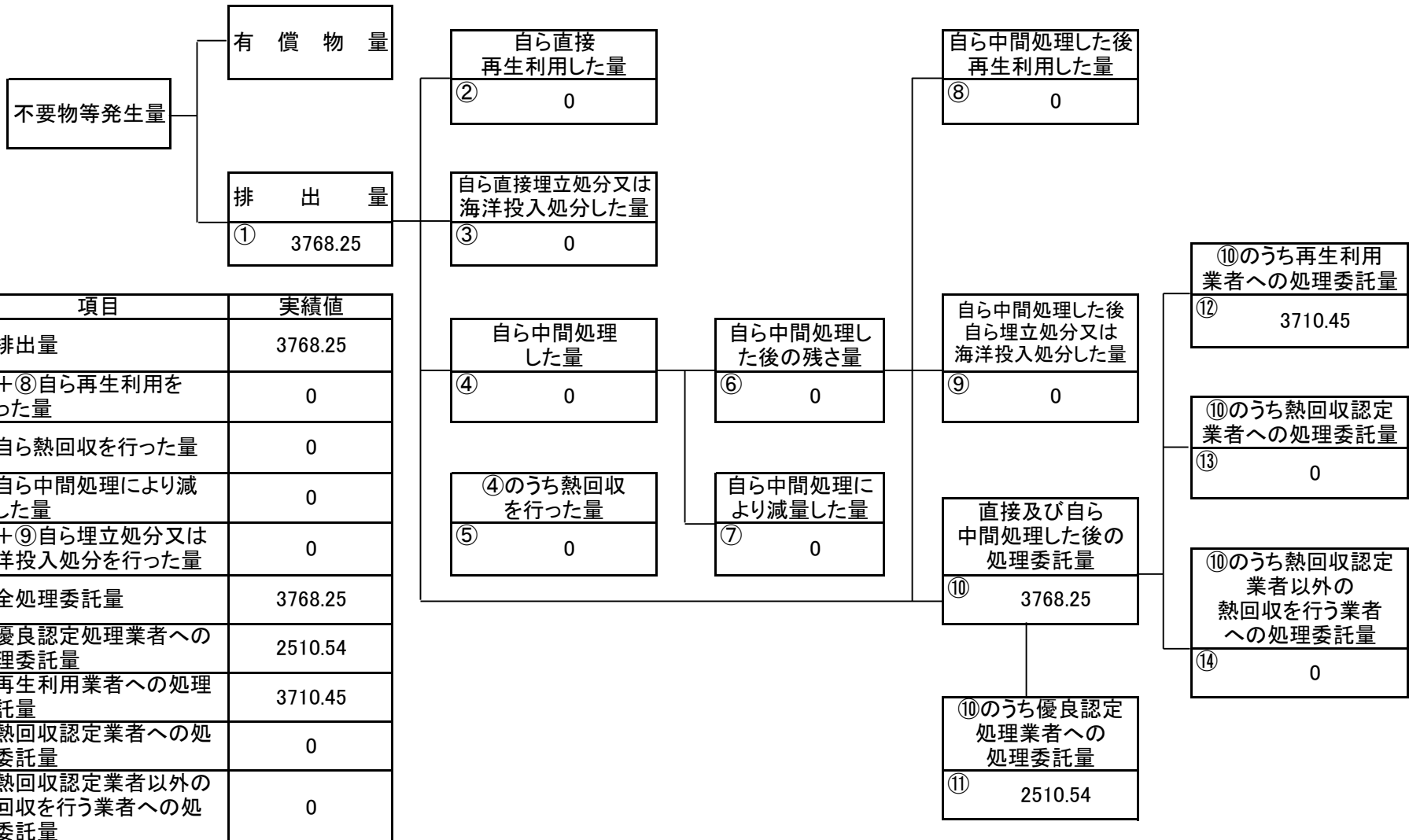
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。